# 非機能要件

## 業務処理量条件

### **5.1.1オンライン業務量**

（1） 個別の業務量

各業務の発生量に関する基礎数値をに記す。

表 5.1‑1　各業務の発生量

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業務内容 | 業務量 | | 備考 |
| ログインする | 定常 | 10件/時間 |  |
| 最大 | 30件/時間 |  |
| ログアウトする | 定常 | 10件/時間 |  |
| 最大 | 30件/時間 |  |
| ATRSカード会員に入会する | 定常（※） | 100件/日 |  |
| ATRSカード会員情報を変更する | 定常（※） | 20件/日 |  |
| フライトの空席状況を照会する | 定常 | 30件/時間 |  |
| 最大 | 100件/時間 |  |
| チケットを予約する | 定常 | 20件/時間 |  |
| 最大 | 60件/時間 |  |

　（※）ピークの発生しない業務のため「定常」のみ記載。

### **5.1.2蓄積データ量条件**

本システムに蓄積するデータに関する基礎数値をに記す。

表 5.1‑2　蓄積データ量

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| データ名称 | 増加率 | 最大蓄積容量 | 保存期間 |
| システムログ情報 | 約1  [MByte/日] | 約180MByte | 6ヶ月 |
| OSメッセージログ | 約150  [KByte/日] | 約14MByte | 3ヶ月 |

　（※）本表に記すデータ量は、論理的なデータ量である。データ管理のために必要となる領域（インデックス領域、バックアップ領域など）の容量は含んでいない。

## 性能条件

### **5.2.1オンライン**

（1） 目標性能条件

(A)　定常業務処理状態での目標性能条件

システムが定常業務処理状態にある時に、処理の９０％以上が達成すべきレスポンスタイムとしての通りに定義する。

表 5.2‑1目標性能条件（定常業務処理状態）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務内容 | レスポンスタイム（\*1） | ターンアラウンドタイム（\*2） |
| ログインする | 3秒以内 | 5秒以内 |
| ログアウトする | 3秒以内 | 5秒以内 |
| ATRSカード会員に入会する | 3秒以内 | 5秒以内 |
| ATRSカード会員情報を変更する | 3秒以内 | 5秒以内 |
| フライトの空席状況を照会する | 7秒以内 | 10秒以内 |
| チケットを予約する | 7秒以内 | 10秒以内 |

（\*1）レスポンスタイム：処理の開始指示を与えてから、最初の応答を受け取るまでの時間。

（\*2）ターンアラウンドタイム：処理の開始指示を与えてから、その処理結果を全て受け取るまでの時間。

（B）最大業務処理状態での目標性能条件

システムが最大業務処理状態にある時に、処理の50％以上が達成すべき条件としての通りに定義する。

表 5.2‑2目標性能条件（最大業務処理状態）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務内容 | レスポンスタイム | ターンアラウンドタイム |
| ログインする | 5秒以内 | 7秒以内 |
| ログアウトする | 5秒以内 | 7秒以内 |
| フライトの空席状況を照会する | 10秒以内 | 15秒以内 |
| チケットを予約する | 10秒以内 | 15 秒以内 |

## 信頼性条件

本システムにて信頼性条件は考慮しない。

## セキュリティ条件

### **5.4.1セキュリティ対策指針**

本システムでのセキュリティ対策指針をに示す。

表 5.4‑1セキュリティ対策指針

| 対策の種類 | | セキュリティ対策 |
| --- | --- | --- |
| Web実装対策 | セキュアコーディング | 脆弱性を利用した攻撃を防ぐための対策を実施する（クロスサイト・スクリプティング、SQLインジェクション、OSコマンドインジェクション）。 |
| 不正追跡・監視 | 操作ログ取得 | ユーザによる操作ログを取得・保存する。（取得したログは、6か月保存する。） |
| データの秘匿 | 蓄積データ暗号化 | 不正なユーザによるハッキングを防ぐために、利用者のパスワードを暗号化して保存する。 |

## システム間接続条件

本システムにおいて、システム間接続条件は考慮しない。

## 移行条件

本システムにて移行条件は考慮しない。

## 保守・運用条件

* + 1. **システム運用条件**

本システムでのシステム運用条件をに示す。

表 5.7‑1システム運用条件

| 種別 | 運用条件 |
| --- | --- |
| サーバ | ・24時間無停止運転  ※サーバ設置ビルの電源設備法定点検で、やむを得ずサーバを停止する場合あり  ・無人運転 |
| 端末  （お客様端末） | ・24時間無停止運転  ・有人操作（お客様にて操作） |

## 拡張性条件

本システムにおいて、拡張性は考慮しない。